

念仏の声を世界へ子や孫に



地球温暖化防止を推進しよう！

H21/11/19 第9期野洲組連研第11回話し合い法座  
**環境問題や脳死**  
**-地球温暖化を考える**  
**…今私たちにできること…**

滋賀県地球温暖化防止推進員

大津グループ

岩下正憲、石井 澄夫、堅田 玄宥

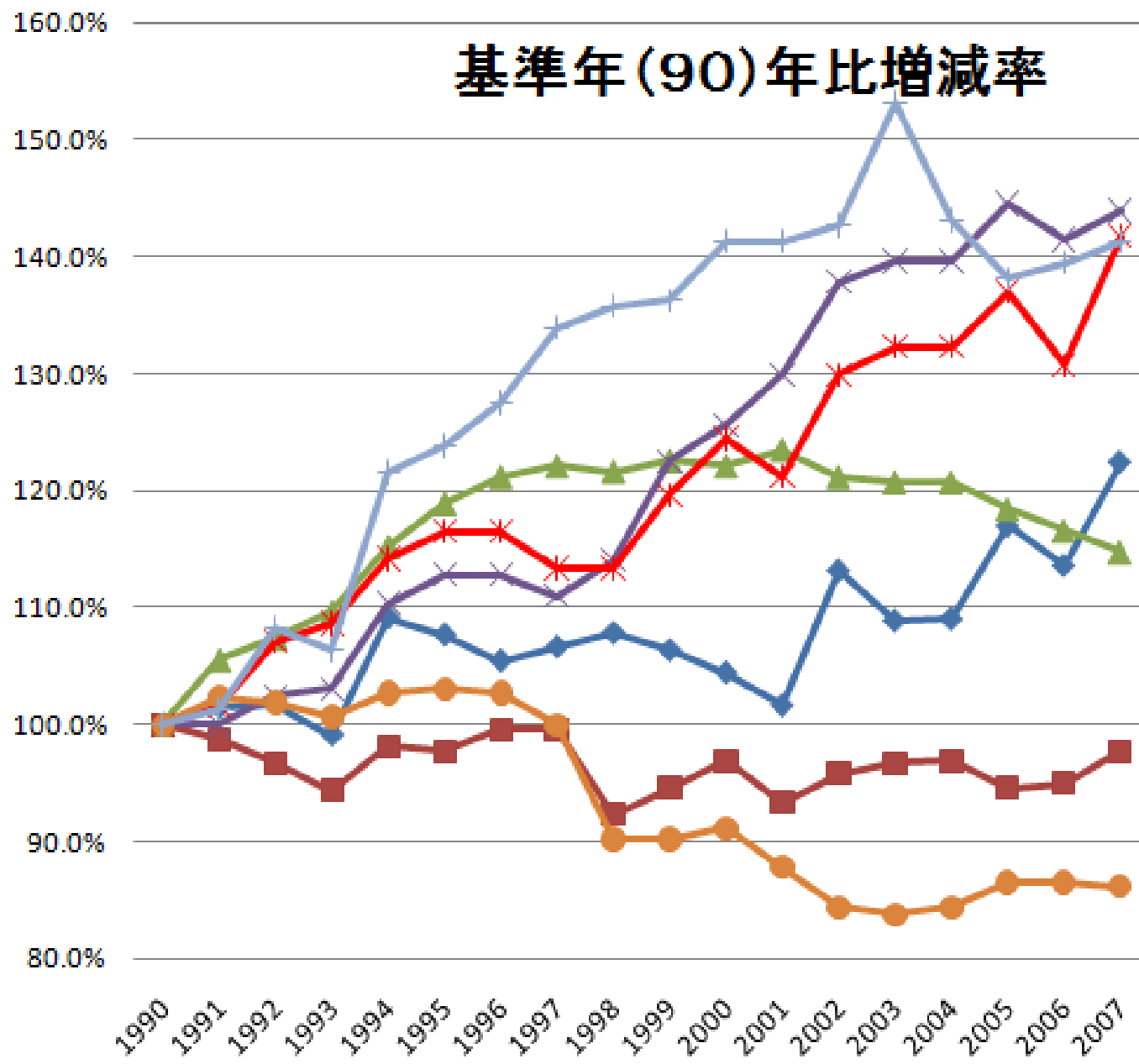
# 鳩山イニシアチブ

2020年迄に温室効果ガス(GHG)を1990年比で25%削減する他、途上国に日本の省エネ技術や資金を積極的に提供する「鳩山イニシアチブ」を提唱(2009/9/22(火))

麻生前政権が発表した「2020年迄のGHG削減(2005年比15%削減 = 1990年比8%削減)(2009/6/10)」を上回る削減幅

(考察) 2008年実績で90年比GHG排出量が3倍増して一躍世界第1の排出国となった中国を本腰を入れてGHG削減施策に巻き込むには05年比のアナウンスの方が得策。

- 温室効果ガス→<http://www.team-6.jp/warming/whatwecando/index.html>



業務部門と家庭部門の排出量が40%も増大している

- ◆ エネルギー転換部門
- 産業部門
- ▲ 運輸部門
- × 業務その他部門
- \* 家庭部門
- 工業プロセス
- + 廃棄物

産業界は削減効果を上げているのに

Ref) 温室効果ガスインベントリオフィス <http://www-gio.nies.go.jp/aboutghg/nir/nir-j.html>

# エネルギー起源二酸化炭素排出量の部門別の推移

(国民の努力、革新的技術を含む:何れも1990年比%)

|       | 2002大綱 | 2006実績 | 2007実績 | 2008速報 |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 産業部門  | 7      | 5.6    | 2.9    | 13.0   |
| 運輸部門  | + 17   | + 17.0 | + 13.1 | + 8.5  |
| 民生部門  | 2      | + 37.1 | + 45.0 | + 38.8 |
| 業 務   | 6.0    | + 41.7 | + 47.2 | + 41.3 |
| 家 庭   | 11.0   | + 30.4 | + 41.2 | + 34.7 |
| GHG全体 | 2.0    | + 11.4 | + 13.7 | + 6.3  |

京都議定書発効により日本は2008～2012年迄の第一約束期間に平均値として90年比GHG 6%の削減義務を負っている。  
 Ref H14(2002)年3.19地球温暖化対策推進大綱、 京都議定書目標達成計画の評価・見直しに関する最終報告(H20年2月8日)by中央環境審議会地球環境部会、 H20(2008)年度の温室効果ガス排出量(速報値)by環境省2009.11.11報道発表資料

# 地球温暖化

2007年ノーベル平和賞「国連IPCC & 不都合な真実」



温暖化との戦争は、今午後十一時  
温暖化の危機を乗り越えるには

**東洋の智慧が必要！**

**少欲知足(欲望を抑え、足るを知ろう)**

温暖化の影響を受けるのは**子や孫の世代**

温暖化対策を採ることができるのは**私達**

子や孫の時代を慮って行動に移すべき！

(国連IPCC議長パチャウリ)。

<http://www.nhk.or.jp/eco2008/teigen/>



# ありがとう、**勿体ない**、お蔭さま

- 1973年親鸞聖人ご生誕800年記念法要の前門様の標語  
**「おかげさまとありがとう」**・・・楽観の時代

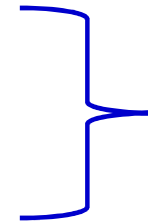


- 1980年現門主「教書」発布→時代の転換期を見越して謳われた  
**「罪悪生死の凡夫にめざめた喜びと慚愧の生活」**が大切

70年「**資源の枯渇問題**」

90年「**地球温暖化問題**」

2007年~9年「**金融危機**」



不安の時代

**人間中心に起因**

罪悪生死の凡夫の自覚に目覚めよう！

- 慚愧・歡喜の「**勿体無い**」精神の復活 (Ref:大谷光真『愚の力』)



- ありがとう、**勿体ない**、お蔭さま (AMO) 活動の提唱

(Ref:南米開教区 プレジデンテ・プルデンテ本願寺からの提起)

コンセプト「わたしにできるひとしづく」物語りの由来

# ハチドリのはとしづく

森が燃えていました。

森の生きものたちはわれ先にと逃げて行きました。

でも、クリキンディという名のハチドリだけは、行ったり来たり

くちばしで水のはとしづくを一滴ずつ運んでは

火の上に落として行きます。

動物たちがそれを見て

「そんなことをして一体、何になるんだ」と言って笑います。

クリキンディはこう応えました。

**「私は、私にできることをしているの」**

Ref)南米アンデス地方の伝説 translated by明治学院大 辻信一教授

物語りのつづき

# ハチドリの一としづく運動にむけて

森が燃えているのを見たハチドリは  
仲間を増やそうと思いました。

「それぞれが一羽ずつ仲間を増やすように伝えて！」  
二回伝わると四羽が、三回伝わると八羽が、  
十回伝わると千二十四羽が、二十回伝わると百万羽以上が、  
そうしてそうして…阿弥陀如来のご本願のお心に目覚め…  
四十八回伝わると二百八十一兆羽のハチドリがやってきて、  
おのおのの一としづくで  
いつのまにやら、森の火は消えていたのです。

Ref)枝廣 淳子(環境ジャーナリスト)の発想を手掛かりに

Ref)ハチドリ計画への喚びかけ(2008/4/25) <http://www.hachidori.jp/>  
(備考)赤字と48回のコンセプトは筆者付記(2009/11/19)